

特集！ボランティアの現場 Part-1 出前ボランティア便り

「アイ・あいロビー」では年間150件を超えるイベント相談があり、多くの登録団体・個人がボランティアとして各施設等に出向いています。今回その中から2例を「出前ボランティア便り」としてご紹介します。（情報収集・提供部会）

I.概要 II.相談・依頼のきっかけ III.出前ボランティアを受けた感想 IV.出前ボランティアを行った感想

4/27(日)「いきいきサロン和気あいあいあい」



I.和気校区では高齢者の見守り活動の一つとして、和気町会館でいきいきサロンを開催し、みなさんに健康で元な生活を続けていただけるよう、さまざまな取り組みを行っています。

II.「アイ・あいロビー」には、多種多様なボランティアさんが登録されていると聞いたので、みんなで楽しめる演目を探してもらいました。

III.見たり聞いたりするだけでなく、みんなで一緒に歌ったり踊ったりと体を動かすことができ、とても盛り上がりました。今後また、他の出前ボランティアさんにもお願いしようと思っています。

IV.まさに和気あいあいと温かく迎えてくださり、みなさんお元気で仲よし。明るく楽しく大変協力的に場を盛り上げていただきました。フォークダンスのように円陣を組んで踊ったり、学生時代に戻ったかのようなでした。
(嶋田久美：音愛心)



5/30(金)「音とリズムと香りを愉しむ音楽会 in はぴな」

I.「生活介護はぴな」は、和泉市との境界に近い堺市南区にある、18歳以上で重度の障がいをお持ちの方の通所施設です。一人ひとりの個性を大切に、身体を動かしたり、料理を作ったり、缶つぶしの仕事をして過ごしています。

II.自分たちではなかなか出来ない「もっと色々な経験をしてみたい!」「もっと楽しい事がしたい!」と思い、今回ボランティアさんの派遣をお願いしました。

III.心地よいベルガモットの香りに包まれながら、馴染みのある曲をシンセサイザーの生演奏で聴いたり、色々な打楽器を使ったリズム打ち体験はとても楽しい時間でした。今回をきっかけに、いつの日か皆さんの前で、音楽に合わせて楽器演奏を披露することが目標の1つになりました。

IV.事前に何度もプログラム等の打合わせを行い、また当日はスタッフの方々のご協力もありスムーズに進行できました。みなさんに楽しんでいただけたようで何よりです。これからも施設の夢の実現に向けてお手伝いできればと思っています。
(岩井仁：音のちからと香りのちから)



特集！ボランティアの現場 Part-2 学生ボランティア便り

桃山学院大学と「アイ・あいロビー」の協働事業「ももやまキッズランド」は、10年前にスタートしました。コロナ禍で中止になった時期もありましたが、みんなが楽しく遊んで交流できる場を提供しようと毎年さまざまな企画を考え、先日は約400名の参加という盛大なイベントを実施することができました。



今回の企画は、3月に桃山学院大学に新築された地域連携拠点（エレノア館）で桃大生との打ち合わせを行い、4月頃から参加していただけるボランティアさん、団体さん、桃大ボランティアサポーターに依頼を行い、多くの人たちの協力によって実現しました。また、開催場所も昨年好評だったエコー・いずみ2階をお借りすることができました。（協働推進部会）

6/7(土)桃大生のお姉さんお兄さんと一緒に遊ぼう！「ももやまキッズランド」



ボランティアさん手作りの「スマートボール」ゴルフボールをボード下のゴールまでいかに運ぶか。



初参加の「わくわくサイエンスショー」空気が大きく重いボーリングボールを持ち上げる不思議な光景に皆が絶句。



「マイレーシングカー作り」カッコよく、早く走るように一生懸命工夫していました。



大学生が担当したのは「紙コップでこま作り」「オリジナル缶バッジ」「バルーンアート」で、お客さんが殺到してんてこ舞い。



「コケッココー」「ブンブンゴマ」「UFO」手作りおもちゃは楽しいあそび場。

たくさん人が来て、対応に戸惑ってしまいましたが、子どもたちへの接し方や声掛けなど、とても勉強になりました。バルーンアートをもらって喜んでくれる子どもたちを見て、私たちも嬉しかったです。（桃山学院大学ボラスタ&オズ）

今後の予定

10月4日（土）桃山学院大学エレノア館で行います。

12月には「アイ・あいロビー」でクリスマスの企画を検討中。

またぎでね！

